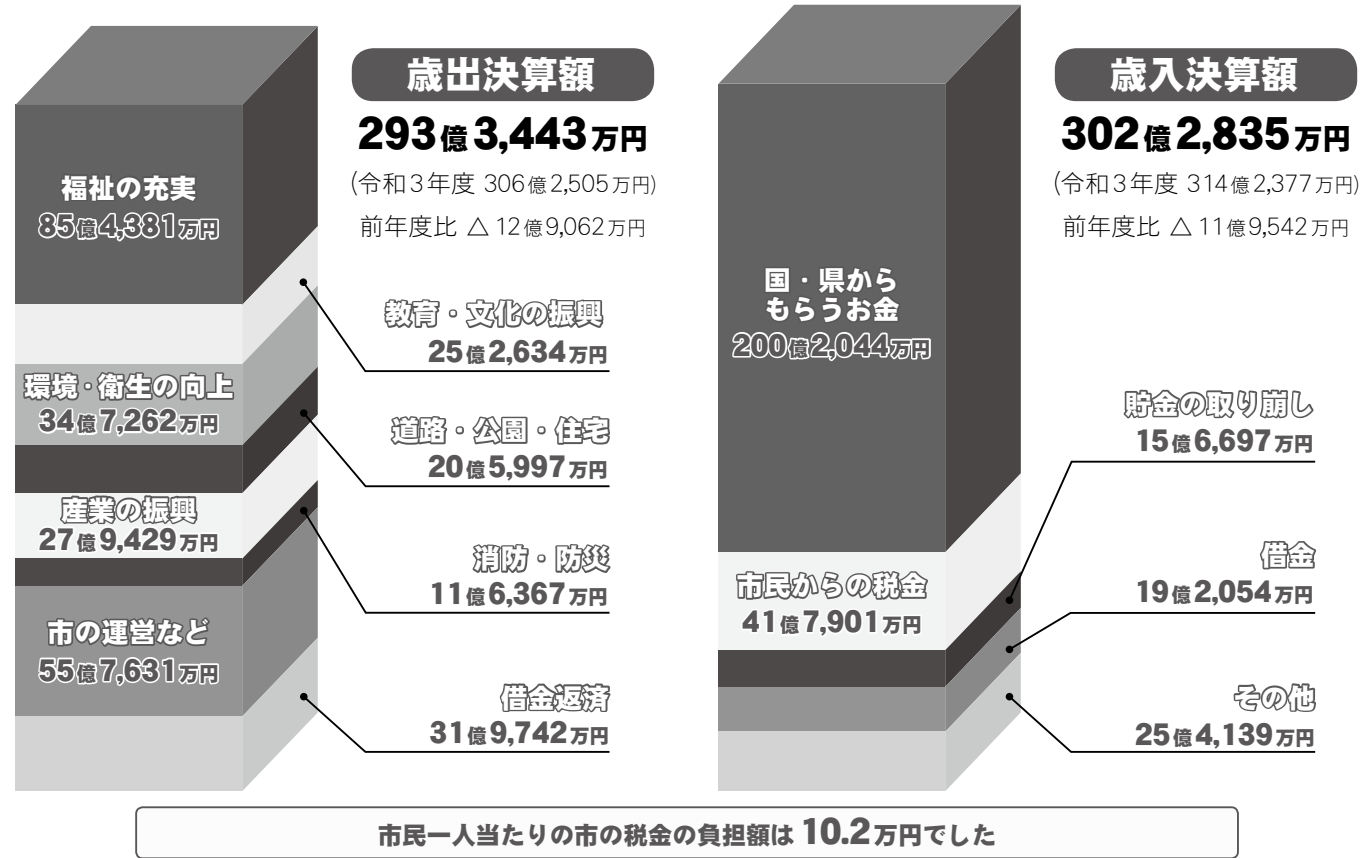


## 一般会計決算

令和4年度一般会計の決算額は、前年度と比較して歳入は12億円の減、歳出は13億円の減となり、歳入歳出ともに前年度を下回りました。この要因として、令和3年度には市内事業者の売上向上や市民の消費拡大のためのプレミアム付商品券発行に係る事業費7億円や、高校生以下の児童一人当たり10万円の現金を給付する子育て世帯等臨時特別支援事業に係る事業費5億円があったことが挙げられます。

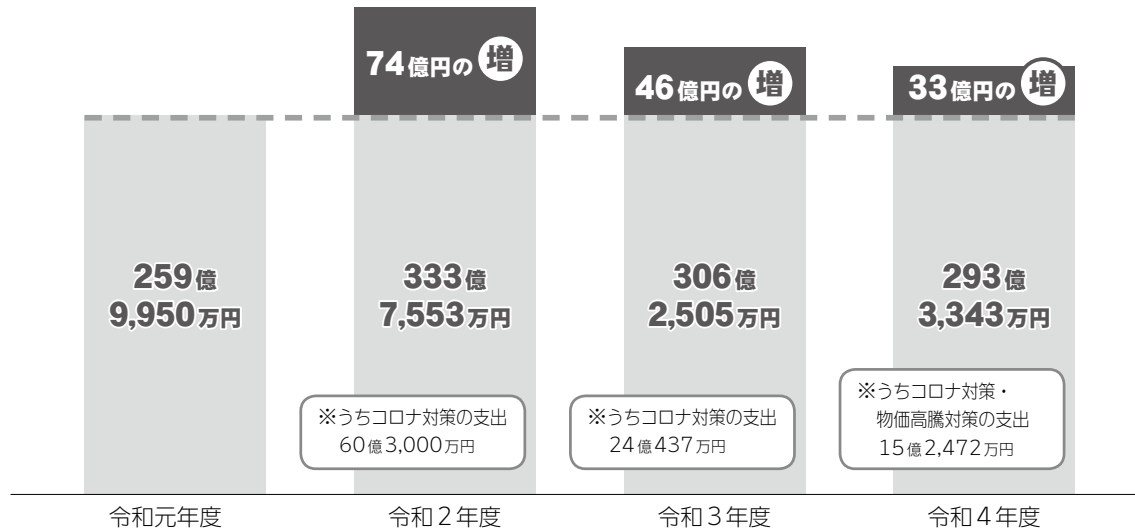
令和4年度のコロナ禍・物価高騰への対応事業としては、①非課税世帯への6万5千円の給付(国・県の事業)、②新型コロナウイルスワクチンの接種、③市民一人当たり5,000円分の商品券を発行、④中小企業、個人事業者などにおけるエネルギー関連経費の掛かり増し分について助成などがありました。



## 歳出決算額の推移

令和4年度の歳出決算額は約293億円であり、前年度決算と同様にコロナ禍への対応や物価高騰対策により決算規模が膨らみました。前年度と比較すると約13億円の減ですが、財政面へのコロナ禍の影響がほぼ見られない令和元年度と比較すると、約33億円増えました。

直近3年間の決算額が増加した主な要因はコロナ対策や物価高騰対策への支出ですが、この支出に係る歳入として国や県から令和2年度は57億円、令和3年度は23億円、令和4年度は15億円交付されています。



決算の詳細や令和5年度上半期の予算の執行状況は、市ホームページをご覧ください。

▶一般会計決算について 問 財政課財政班 (☎ 73-2114)

info  
15

令和4年度

一般会計決算と公営企業会計決算

### 施設を整備する事業

<b>収入額</b>	<b>4億5,204万円</b>
・企業借入金	2億40万円
・出資金	2億4,141万円
・負担金および分担金	1,023万円
<b>支出額</b>	<b>9億1,543万円</b>
・建設改良費	2,948万円
・固定資産購入費	29万円
・企業債償還金	8億8,566万円

農業集落排水施設の機械設備などの更新工事を行いました。収入から支出を引いた不足分4億6,339万円は、下水処理を行う事業で出た利益の貯蓄などで補いました。

### 下水処理を行う事業

<b>収入額</b>	<b>16億3,632万円</b>
・下水道等使用料	4億2,160万円
・その他	12億1,472万円
<b>支出額</b>	<b>15億2,080万円</b>
・減価償却費	8億1,285万円
・企業債支払利息	1億4,933万円
・人件費	4,564万円
・その他維持管理費	5億1,200万円
・資産減耗費	98万円

下水道等使用料や市からの補助金などの収入に対し、支出は、下水処理を行う経費や設備を維持管理する経費、人件費などでした。なお、消費税抜きの当年度純利益は1億1,435万円となりました。

▶公営企業会計決算について 問 上下水道課管理班 (☎ 55-8219)

## 公営企業会計決算

### 下水道事業会計

下水道事業会計では、下水道等使用料などによって、下水道施設などを整備・維持管理しています。

### 施設を整備する事業

<b>収入額</b>	<b>3億762万円</b>
・企業借入金	5,210万円
・一般会計出資金	2億2,908万円
・工事負担金	1,610万円
・加入金	1,034万円
<b>支出額</b>	<b>6億8,183万円</b>
・建設改良費	1億3,112万円
・企業債償還金	5億5,071万円

新しく水道管を整備したり、古い水道管を交換しました。また、収入から支出を引いた不足分3億7,421万円は、飲料水を作る事業で出た利益の貯蓄などで補いました。

決算の詳細や令和5年度上下水道事業上半期の執行状況は、市ホームページをご覧ください。

### 飲料水を作る事業

<b>収入額</b>	<b>13億4,207万円</b>
・水道料金	8億6,542万円
・その他	4億7,665万円
<b>支出額</b>	<b>11億8,430万円</b>
・減価償却費	6億304万円
・企業債支払利息	9,373万円
・人件費	6,468万円
・その他維持管理費	3億9,227万円
・資産減耗費	3,058万円

水道料金や市からの補助金などの収入に対し、支出は、飲料水を作る経費や設備を維持管理する経費、人件費などでした。なお、消費税抜きの当年度純利益は1億4,618万円となりました。

## 公営企業会計決算

### 水道事業会計

水道事業会計では、水道料金などによって、水道施設を整備・維持管理しています。